

～『人材力』と『知力』を結集し、“グリーン・イノベーションによる成長と資源確保の推進”を加速する～

● **グリーン・イノベーションを実現するための①大学の総合力の活用と②投資効果の高い研究開発の実施**  
経済効果：約1万人の大学研究者の「知」を活用(=約1,000億円/年の投資相当)と100兆円規模(2030年)の世界市場へ!

**新技術の実証・エコ社会形成**

**革新技術の創出・技術競争力強化**

**世界最高技術の国際展開**

**大学発グリーン・イノベーション創出事業(50億円)**

大学のソフトパワーをフル活用! 全国192大学の約400センター・研究所(グリーン・イノベーション関連)の「知」を結集!

**「緑の知の拠点」事業**

～大学キャンパスにおける新技術の総合実証～  
➢環境モデル都市等において、大学キャンパスを活用した総合的な環境エネルギーの新技術・新システムの実証を実施し、実用化や社会への導入の加速を図るとともに、持続可能な教育・研究の基盤を構築する。(資源エネルギー庁との協働事業)

**「グリーン・ネットワーク・オブ・エクセレンス」(GRENE)事業**

～大学ネットワーク構築による国際競争力の強化～  
➢重要分野毎に大学等のネットワークを構築し、組織横断的な教育・研究活動や施設・設備の共同利用、産学連携プラットフォームの構築等を推進し、優れた専門人材や研究成果を生み出す。(①エネルギー変換科学、②植物科学、③エネルギー情報、④ITS、⑤環境情報、⑥北極、⑦水資源、⑧先進環境材料)

**「緑の絆」事業**

～日本発「技術・人材」の世界展開～  
➢母国で活躍する留学生OB等のネットワークを活用し、アジア・アフリカ等の途上国に対して、産学連携で環境エネルギー分野の「技術と人材」のパッケージの展開を図る。

**○エコ社会形成のための社会シナリオ研究の推進(5億円)**

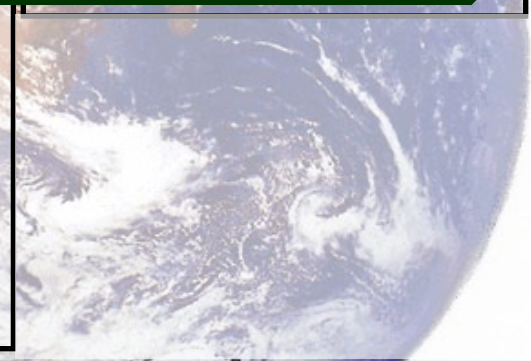
＝「低炭素社会実現のための社会シナリオ研究」

➢持続可能で活力ある低炭素社会の実現に向けた社会システム改革や研究開発の方向性を提示する。その一環として農水省と連携し、バイオマスタウン再生のための支援を実施する。

**○温室効果ガスを削減する革新的技術開発の加速(45億円)**

＝「先端的低炭素化技術開発事業」

➢温室効果ガスの抜本的削減のため、従来技術の延長線上にない新原理等に基づく革新技術の研究開発を、新たな研究管理体制の下、最長10年間、集中的に支援(=総合科学技術会議「科学・技術重要施策アクション・プラン」施策パッケージの主要施策)



● **最先端技術による海洋資源の確保**

経済効果：180兆円相当の海洋資源が存在する見込み

**○海洋資源探査システムの実証(30億円)**

➢我が国のEEZに存在している豊富な海洋鉱物資源の分布や賦存量等を把握するため、小型の無人探査機や資源の掘削技術を開発・整備するとともに、戦略的探査手法の研究開発を実施し、新成長戦略工程表の海洋資源開発を推進。



AUV(無人潜水探査機)